



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2022年11月号(318号)



「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催しました (P2)



「第9回三河湾大感謝祭」を開催しました (P3)



プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ
研修の参加者を募集します (P7)



「2022年度愛知県わな捕獲技術向上セミナー」
を開催しました (P10)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成
に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」
Web ページは
こちらから→
今月号とバックナンバーを掲載しています。



「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催しました



SDGs 達成に向けた機運醸成を図るため、「SDGs AICHI EXPO 2022」(主催:SDGs AICHI EXPO 実行委員会(会長 愛知県知事))を10月6日(木)~8日(土)にAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催しました。会場は大変多くの方で賑わい、3日間で合計16,511名の方にご参加いただきました。

【ステージイベント】

6日・7日は、SDGsや脱炭素に関する最新の動向・企業戦略などを学ぶ「SDGs 経営セミナー」や、日本経済新聞社・日経BPとの共催イベントとなる「日経SDGs フェス in どまんなか」などのビジネス層向けのイベントを行いました。



日経SDGs フェス in どまんなか

8日はファミリー層向けに、吉本芸人によるSDGsを題材にしたお笑いステージ、地球環境を学ぶ実験パフォーマンスを行う「サーカス・エコロジカル」などを行いました。

また、中学生・高校生・大学生がSDGsに関する活動や成果を発表する「SDGs ユースセッション」を行いました。



ユースセッション

【ブース出展】

SDGsに率先して取り組む119の企業・団体がブース出展し、SDGs達成に向けた取組の発信を行いました。出展者同士や来場者と出展者間にコミュニケーションが生まれ、本イベントの目標の一つである「パートナーシップの構築」に寄与しました。

出展企業・団体数

企業	NPO等	学校等	自治体	合計
43	22	29	25	119



出展ブースの様子

愛知県ブース「あいちSDGs Action Town」では、SDGs関連の県事業の紹介や、関係団体による活動内容の発表のほか、LEDランプを製作し地球温暖化について考える工作教室などのワークショップを実施し、楽しみながらSDGsについて学ぶことができました。



県事業の紹介 (愛知県ブース)



ワークショップの様子 (愛知県ブース)

エンディングセレモニーでは、来場者による投票で選ばれた優秀ブース出展5者が表彰されました。



優秀ブース表彰

【その他の企画】

「燃料電池車両の展示・試乗会」「ユネスコスクール交流会」などの事業を同時開催しました。さらに、名古屋グランパスの協力の下、フードドライブも実施し、多くの食品を提供していただきました。

「SDGs AICHI EXPO 2022」は、出展者や来場者のSDGs達成への想いが伝わるイベントとなりました。

様々な主体がパートナーシップを構築するきっかけになるとともに、SDGsへの理解を深めていただけたと思います。

イベントの詳細は公式サイトをご覧ください。(https://sdgs-aichi.com/)



環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210(ダイヤルイン)

「第9回三河湾大感謝祭」を開催しました

12
三河湾環境再生プロジェクト

14
三河湾環境再生プロジェクト

17
三河湾環境再生プロジェクト

愛知県では、「三河湾環境再生プロジェクト」の一環として、多くの皆さんに三河湾への関心を持っていただくため、2014年度から「三河湾大感謝祭」を開催しています。

今年度は、10月9日（日）に西尾市の一色さかな広場特設会場で、「第9回三河湾大感謝祭」を開催しました。

今回の三河湾大感謝祭では、三河湾で採れた生きものや、うなぎに触ったり、間近で見ることができる生きものタッチプールを開催しました。



生きものタッチプール

また、会場近くの干潟では、家族連れなど多くの方々にご参加いただき、三河湾にすむ生きものと干潟の役割、三河湾の環境について考えていただく、生きもの観察会を開催しました。



生きもの観察会

ステージでは、タレントの須田^{すだあかり}亜香里さんと竹島水族館館長の小林^{こばやしりゅうじ}龍二さんが三河湾の生きものや海ゴミなどについて語る三河湾環境トークショーを行い、引き続き行われたセレモニーでは、大村知事と中村西尾市長の挨拶が行われたのち、須田さん、小林さん達とともにガンパローコールで、三河湾の環境再生に向けた機運を高めました。



ガンパローコール

さらに、エコマジシャン・ミヤモさんによるエコマジック、地元で活動する「いっしき太鼓 魁-KAI」による和太鼓の演奏が会場を盛り上げたほか、「西尾市立佐久島しおさい学校」の生徒によるアマモの植え付け体験の発表が行われ、来場者の西尾一色地域と三河湾への関心を高めました。

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員を始めとした各団体によるブースでは、三河湾の生きものから海ごみなどを題材にしたクイズラリーや三河湾産の海産物をはじめとした地元食品の販売を実施しました。



知事によるブース視察

当日は、多くの皆さんにご来場いただき、様々な形で三河湾の魅力に触れ、考えていただく一日となりました。

三河湾環境再生プロジェクトの詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://kankyo.joho.pref.aichi.jp/mikawawanpj/index.html>)



🔍 三河湾環境再生プロジェクト

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

令和5年度愛鳥週間用ポスター原画募集の 優秀作品を決定しました



令和5年度愛鳥週間用ポスター原画を募集したところ、県内の小・中・高等学校等から計15,874作品のご応募をいただきました。審査会での選考の結果、

特に優秀と認められた30作品を、(公財)日本鳥類保護連盟主催の「令和5年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」へ推薦しました。

愛知県選考作品一覧(全30点)

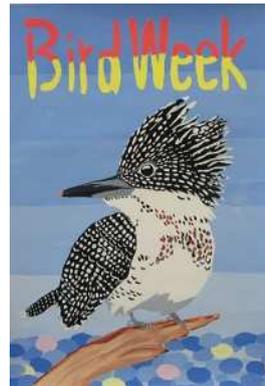
<最優秀賞>



愛知教育大学付属
岡崎小学校1年
たなか あこ
田中 杏来さん



愛知教育大学付属
岡崎小学校2年
まつい さくらこ
松井 櫻子さん



江南市立
古知野北小学校3年
くろかわ ひなの
黒川 日菜乃さん



名古屋市立
宝南小学校4年
ひろうち るり
廣内 瑠璃さん



瀬戸市立
にじの丘小学校5年
ごとう りく
後藤 陸玖さん



愛西市立
にしかわばた
西川端小学校6年
むらかみ ふうか
村上 楓香さん



みよし市立
北中学校1年
おおすか りり
大須賀 梨里さん



小牧市立
小牧西中学校2年
はっとり つばき
服部 椿さん



刈谷市立
よさみ
依佐美中学校3年
やました ちひろ
山下 千尋さん



愛知県立
蒲郡高等学校3年
やまもと はるな
山本 悠菜さん

※作品はWebページにも掲載しています。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/r5aicyo-aichisenko.html>)



第9次総量削減計画を策定しました



愛知県では、伊勢湾（三河湾を含む。）の水質改善を図るため、水質汚濁防止法に基づき、10月25日付けで第9次総量削減計画を策定しました。

1 総量削減計画について

第9次総量削減計画では、2024年度を目標年度とし、化学的酸素要求量（COD）、窒素含有量及びりん含有量の負荷量を、2019年度実績値から下表のとおり削減することを目標としています。

表 第9次の総量削減目標量（単位：トン/日）

	2024年度 削減目標量	2019年度 実績値	削減率
COD	70	73	4.1 %
窒素含有量	55	56	1.8 %
りん含有量	4.4	4.5	2.2 %

本計画では、下水道・浄化槽等の生活排水処理施設の整備や総量規制基準の設定等、汚濁負荷量の削減のための取組や、干潟・浅場の造成や多様な主体

との連携・協働の推進等、水環境の改善に関し必要な取組の推進について定めています。

2 総量規制基準について

「水質の保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」のため、豊川及び矢作川浄化センターに係る基準について期間を限定して緩和する一部改正を行いました。その他の業種については、第8次の総量規制基準から変更はありません。

第9次総量削減計画及び基準の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000047072.html>)



愛知県 水質総量削減

検索

水大気環境課 調整・計画グループ
電話 052-954-6221（ダイヤルイン）

サーキュラーエコノミー推進モデルのプロジェクト チームに参画する事業者を募集しています



愛知県では、「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」（2022年3月策定）に基づき、サーキュラーエコノミーへの転換による循環ビジネスの進展を図っています。

本プランでは、社会的な課題となっているプラスチック等を循環利用するサーキュラーエコノミー推進モデルを創設しており、今年度は、その具体化に向け、事業者等から構成されるプロジェクトチーム（以下「PT」という。）を立ち上げます。現在、このPTへの参画事業者を募集しています。

1 応募資格

下記いずれかの条件を満たす事業者

- ・県内に本社、事業所など拠点を有する者または拠点を整備する予定のある者
- ・県内に拠点は無いが、独自の技術やシステムを有し、本事業に積極的に参画したい者

2 申込方法

下記のWebページを参照の上、所定のエントリーシートを提出して下さい。

3 申込期限

11月21日（月）17:00まで

4 その他

- ・エントリーシートの内容を踏まえ、PTに参画する事業者の選考（非公開）を行います。
- ・12月下旬を目処に参画事業者を決定し、2023年1月以降にPT会議を開催します。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/circulareconomy-pt.html>)



サーキュラーエコノミー推進モデル

検索

資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233（ダイヤルイン）

プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ研修 の参加者を募集します



愛知県では、NPO 等による森と緑の保全活動や環境学習の裾野を広げ、活動のレベルアップを図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、「環境活動ステップアップ研修」を2014年度から毎年開催しています。

研修のテーマは、「森づくりの基本と計画づくり」「企画・広報」「リスクマネジメント」です。

講義やフィールドワーク等を通じて、環境活動における課題の解決に役立つ知識や技術を学びます。

参加費は無料です。

1 対象者

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の実施団体に所属する方、森と緑の保全活動や環境学習を行っている方やこれから行おうとしている方などどなたでもご参加いただけます。

2 申込期限

第1回:11月22日(火)

第2回:11月25日(金)

第3回:12月7日(水)

※各回とも17:00まで

(必着、申込先着順)

3 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、FAX 又は Eメールのいずれかの方法でお申し込みください。

申込用紙のダウンロードや申込先等の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kankyostepup.html>)



🔍 ステップアップ研修 環境活動

検索



講義の様子

実施内容

テーマ・日時	内容	場所	定員
第1回 「森づくりの基本と計画づくり」 11月25日(金) 14:00~16:00	講演:「どんな森をつくれますか？」 小さな森から地域を代表するような森まで多様な森があります。その森に関わる姿勢や思いによって「森づくり」は変わります。 一緒に考えてみませんか! 講師:篠田 陽作 氏 (ネイチャークラブ東海)	愛知県西三河総合庁舎 7階 701会議室	15名
第2回 「企画・広報」 12月3日(土) 10:00~16:00	環境や自然に関する事業の企画・広報について、経験豊かな講師から学びます。企画中のイベントなどもブラッシュアップできます。 講師:志賀 壮史 氏 (特非)グリーンシティ福岡	もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)	15名
第3回 「リスクマネジメント」 12月14日(水) 10:00~16:00	組織で活かせる野外活動の事故予防について、講義、ワークショップを交えて学びます。 講師:渡辺 直史 氏 (プラムネット(株))	もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)	15名

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

地球温暖化防止活動推進員を募集します



愛知県では、地域において地球温暖化に関する知識の普及や地球温暖化防止活動を進めるボランティアとして「地球温暖化防止活動推進員」を募集します。

1 活動内容

地方公共団体やNPO等の団体からの依頼に応じたり、自主的に地球温暖化防止に関する活動を行った上で、毎年、活動状況を報告していただきます。

【活動例】

- ・小学校への出前講座「ストップ温暖化教室」の講師
- ・市町村環境イベント等でのブーススタッフ
- ・小学校、幼稚園での緑のカーテンの育て方講習
- ・地球温暖化に関する研修や説明会への参加

出前講座では県が作成したテキスト、実験器具等を使用することもできます！



2 委嘱期間

2023年2月1日（委嘱の日）から3年間

3 応募方法

「愛知県地球温暖化防止活動推進員応募申込書・同意書」をEメール等により提出してください。

応募受付は11月15日（火）に開始します。

詳細は、同日開設のWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/suishinin-bosyu.html>)



愛知県地球温暖化防止活動推進員

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

2022年度PM_{2.5}注意喚起情報

メール配信サービスの登録受付を開始します



PM_{2.5}とは、大気中に浮遊している粒径が2.5μm以下の非常に小さな粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が懸念されています。

このため、愛知県では、PM_{2.5}の日平均濃度が70μg/m³を超えると予想される場合には、注意喚起情報を区域ごとに発令しています。この注意喚起情報を直接メールでお知らせするサービスの今期分の登録受付を11月1日から開始しました。

なお、2022年10月末までに登録いただいた方も再度登録が必要となりますので、ご注意ください。

メール配信サービスの登録方法

①配信を希望する区域のメールアドレス宛に「空メール」を送信してください。

②しばらくすると、登録完了のメールが届きます。

愛知県 微小粒子状物質

検索

メール配信サービスの登録アドレス（区域別）

尾張区域

名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

owari_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp

西三河区域

岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町

nishimikawa_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp

東三河区域

豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

higashimikawa_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000058568.html>)



水大気環境課 大気調査グループ
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)



○ かえでの紅葉日の変化について

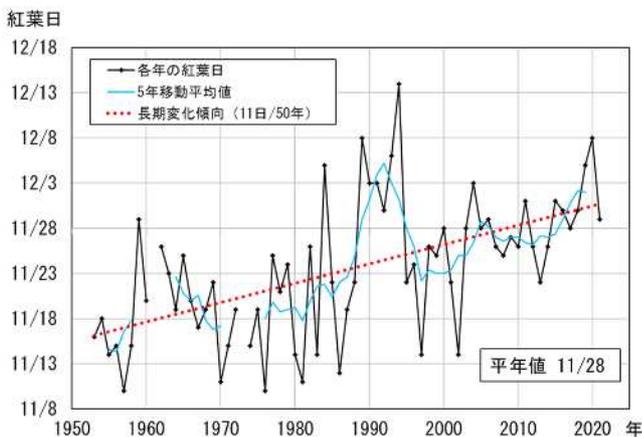
秋が深まり朝の冷え込みが感じられると、木々の葉が色づき始めます。かえでなど落葉樹の葉が色づくためには、朝の冷え込みが大切で、最低気温が約8℃以下になると、晩秋の風物詩である紅葉が始まるとされています。

気象庁では、植物や動物の状態が季節によって変化する現象を観測する「生物季節観測」の中で、晩秋を捉えるため、「かえで」の紅葉日*などを観測しています。

* 紅葉日

標本木を全体として眺めた時に、その大部分が紅色に変わり、緑色がほとんど認められなくなった最初の日

愛知県内では、1953年から継続して名古屋地方気象台の「いろはかえで」の標本木で紅葉日などを観測していますが、地球温暖化により紅葉が遅れる傾向が現れており、紅葉日は50年あたりでおよそ11日遅くなっています。



名古屋の「いろはかえで」の紅葉日の変化
(気象庁のデータを基に作図。1961年、1973年は欠損)

このように、地球温暖化は私たちが紅葉狩りを楽しむ時期にも影響を与えているようです。

詳細は気象庁のWebページをご覧ください。

生物季節観測の情報 気象庁

検索

(<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>)



○ 地球温暖化影響調査レポート(農林水産省)について

農林水産省は、9月に「令和3年地球温暖化影響調査レポート」を公表しました。このレポートでは、水稻をはじめ、果樹、野菜、花き、家畜等における高温障害等の影響、各都道府県の温暖化への適応策の取組状況等が取りまとめられています。

農業現場での気候変動の影響と適応策 (令和3年地球温暖化影響調査レポートのポイントから作成)

水稻	<ul style="list-style-type: none"> ● 出穂期以降の高温により白未熟粒が発生 ☆ 発生抑制のため、水管理の徹底、適期移植・収穫の実施、高温耐性品種の導入
果樹	<ul style="list-style-type: none"> ● 果実肥大期以降の高温により、ぶどう・りんごでは着色不良・着色遅延、うんしゅうみかんでは、日焼け果や浮皮が発生 ☆ 着色不良・着色遅延対策として、着色優良品種や着色を気にしなくてよい黄緑系品種の導入 ☆ 日焼け果対策として樹冠上部・表層摘果の実施 ☆ 浮皮対策として植物成長調整剤の活用
野菜	<ul style="list-style-type: none"> ● トマトでは、収穫期の高温により着花・着果不良、不良果が発生 ● いちごでは、花芽分化期の高温により花芽分化の遅れが発生 ☆ 着花・着果不良及び不良果対策として、遮光資材の活用、細霧冷房・循環扇の導入 ☆ 花芽分化安定・促進のため、新品種導入やクラウン部冷却の実施
花き	<ul style="list-style-type: none"> ● きくでは、高温により開花期の前進・遅延、奇形花が発生 ☆ 開花期安定のため、シェードの活用や電照栽培による日長操作、ヒートポンプの活用による夜冷、高温耐性品種の導入
畜産	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳用牛では、高温により乳量・乳成分の低下が発生 ☆ 高温対策として牛舎の送風・換気、細霧冷房の導入

● : 気候変動の影響 ☆ : 適応策

県では、高温に耐性を持ち、猛暑の年でも品質の良い米が生産できる新品種「なつきらり(ブランド名「愛ひとつぶ)」や、高温でも開花が安定し、花や草姿も美しいキクの新品種「スプレー愛知夏3号」の開発などに取り組んでいます。

レポートの詳細はWebページをご覧ください。

地球温暖化影響調査レポート 農林水産省

検索

(<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/220916.html>)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

「2022年度愛知県わな捕獲技術向上セミナー」を 開催しました



愛知県では、特に三河地方の中山間地域において、野生鳥獣による農業被害等が多く発生し、近年では平野部の市街地での出没も問題となっていることから、その捕獲の担い手となる狩猟者の確保・育成を行っています。

今年度は、わな猟の初心者等を対象として、9月23日（金・祝）に愛知県緑化センター・昭和の森（豊田市）において、「2022年度愛知県わな捕獲技術向上セミナー」を開催しました。セミナーには、10代から70代までの幅広い年代の計20名の方にご参加いただきました。

セミナーでは、まず「狩猟免許の活用方法」「イノシシの生態」「わな捕獲の極意」について、現場のリアルな映像をもとに、講師による講義を行いました。

次に、予定していた屋外での実践的な「わなの架設実習」は、雨天により中止となりましたが、屋内で箱わなやくくりわな等のわな本体や止め刺し等で使用する道具の説明を受け、わなの架設実習を実施しました。



くくりわな架設実習



講義「イノシシの生態」の様子

参加者からは、「講師の実経験に基づいたお話は、とても興味深かった」「餌付けがわな猟で捕獲を効率的に行うために効果が高いことを知った」などの感想がありました。

いよいよ、11月15日から今シーズンの狩猟が始まります。ベテランのハンターの方だけでなく、本セミナーにご参加いただいた皆さんのご活躍を期待しています。

狩猟免許の取得をご検討の方は、お気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

〔自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230(ダイヤルイン)〕

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2022年11月7日発行(第318号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

室内でも寒さを感じ、暖房機器を使い始める季節となりました。省エネのために暖房機器の設定温度を下げる一方で、寒さを感じる場合は、加湿をして適切な湿度を取り入れると比較的暖かく感じられるそうです。「濡れたタオルを室内に干す」、「床を水拭きする」などのエコな加湿方法で、省エネと快適を両立したいと思います。
(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。

